

## 2023年度小田急グループ環境表彰を実施

大賞は箱根登山鉄道株式会社の「回生電力運用に伴う運転電力量の削減」

小田急グループ

小田急グループは、2021年9月に「小田急グループ カーボンニュートラル2050」を策定し、事業活動を通じたCO2排出量の削減や資源循環、自然資源の保全・活用などの環境課題に取り組んでいます。

本表彰は、これら小田急グループ各社・職場・個人の取り組みを表彰し、その内容を社内外へ周知することで、環境活動の水平展開や従業員の意識向上、主体的な取り組みへの発展につなげ、小田急グループの環境の取り組みを活性化することを目的に、「小田急グループ環境表彰制度」を2023年度に設け、実施しました。

第1回目となる2023年度は、25件の応募を受け、サステナビリティ部門の責任者である経営企画本部長及びサステナビリティ推進委員会の審査を経て、「小田急グループ環境大賞」1件、「優秀賞」2件、「特別賞」7件を決定いたしました。

受賞者は以下のとおりです。

■「小田急グループ環境大賞」1件
・箱根登山鉄道株式会社 鉄道部 「回生電力運用に伴う運転電力量の削減」
■「優秀賞」2件
・小田急商事株式会社 営業サポート本部 「全社を挙げた節電への取り組み」
・株式会社ホテル小田急サザンタワー 営業部調理課 「東京産野菜の使用によるフードロス等の環境負荷軽減への取り組み」
■「特別賞」7件
・小田急電鉄株式会社 運転車両部 大野総合車両所 「脱炭素社会の実現に関すること」
・株式会社ホテル小田急サザンタワー 営業部宿泊課・総務部総務課 「プラスチックごみの削減」
・小田急電鉄株式会社 生活事業推進部 沿線事業所 「省エネ診断を活用した省エネの推進」
・小田急不動産株式会社 住宅事業本部 「環境性能住宅ZEHの供給とZEHセミナーの開催」
・株式会社小田急エージェンシー Pape”R”(ペーパー)プロジェクトメンバー 「小田急交通広告のアップサイクル」
・小田急電鉄株式会社 運転車両部・アセット事業部・経営戦略部 「ゼロカーボン ロマンスカートの運行」
・小田急電鉄株式会社 運転車両部 喜多見検車区 「自然環境の保全活動推進に向けた洗濯用洗剤使用量の削減」



以上

## 【別紙】表彰取組の内容

### ■小田急グループ環境大賞(1件)

#### ○「回生電力の活用に伴う運転電力量の削減」(箱根登山鉄道株式会社 鉄道部)

2014年に就役した3000形において、電力諸設備への影響懸念から使用を中止していた回生ブレーキ(箱根湯本駅～強羅駅間)について、関係職場が一丸となり課題整理・調整を推進し使用を実現、運転電力量削減に大きな成果をあげた。



### ■優秀賞(2件)

#### ○「全社を挙げた節電の取組み」(小田急商事株式会社 営業サポート本部)

電気料金の急激な上昇を契機に、本社・店舗が一体となってアイデアを出し合い、事業別、店別に目標値を設定し、特に対策においては問題解決や目標達成に最適なアプローチ・手段が実施され、電気使用量を前年度比130万kWh削減した。



#### ○「東京産野菜の使用によるカーボンニュートラル・フードロス等の環境負荷軽減への取組み」

(株式会社ホテル小田急サザンタワー 営業部調理課)

調理スタッフ等が生産地に足を運び、生産者との絆を深め、東京産野菜を農家から仕入れることで流通による環境負荷軽減を図り、また、フードロスの観点から販売ラインに満たない野菜(廃棄対象野菜)の仕入れや野菜の皮も含めた調理法を取り入れ、食品廃棄物の軽減に繋がった。



### ■特別賞(7件)

#### ○「脱炭素社会の実現に関すること」(小田急電鉄株式会社 運転車両部 大野総合車両所)

CO2排出量対前年比5%削減の目標を職場で設定、所属員への教育や毎月のCO2排出量推移を所内に掲出する等、省エネの意識向上を図り、CO2排出量を前年比10.5%削減した。

#### ○「プラスチックごみの削減」(株式会社ホテル小田急サザンタワー 営業部宿泊課・総務部総務課)

2022年11月よりペットボトル入りミネラルウォーターの無料提供を廃止し、各客室フロアにウォーターサーバーを導入。年間約17万本のペットボトルごみの削減に繋がった。

#### ○「省エネ診断を活用した省エネの推進」(小田急電鉄株式会社 生活事業推進部・沿線事業所)

粕江クローゼットにおいて省エネ診断を受診し、その改善提案である暖房設定温度変更や館内照明のLED化等を実施。2023年冬季の電気使用量を前年比37.9%削減した。また、本件をモデルケースとして、他の施設への展開を計画中。

○「ゼロカーボンロマンスカーの運行」(小田急電鉄株式会社 運転車両部・アセット事業部・経営戦略部)

東京都総量削減義務と排出量取引制度にて創出した CO2 超過削減量をオフセットしゼロカーボンロマンスカーの運行へ充当。鉄道・ロマンスカーが環境負荷の低い交通手段であることの浸透に貢献した。



○「LEAFIA における ZEH の供給と ZEH セミナーの開催」(小田急不動産株式会社 住宅事業本部)

ZEH 物件の販売開始を契機に、社員を対象に ZEH セミナーを開催し、累計 120 名が参加、社内における環境意識の高揚を図った。

○「小田急交通広告のアップサイクル」(株式会社小田急エージェンシーPaper”R”(ペーパー)プロジェクトメンバー)

交通広告ビジネスのサステナブル化を目指したプロジェクト。廃棄される広告の再活用の事例が少ない中、実現の難しい再生紙抄造スキームを確立、2023 年 2 月より名刺を商品化し、資源循環に貢献した。

○「自然環境の保全活動推進に向けた洗濯用洗剤使用量の削減」(小田急電鉄株式会社 運転車両部 喜多見検車区)

水汚染低減の観点から洗剤の使用量削減を目指し、汚れの落ち具合から 1 回の最適量を決定、計量ポンプ付き容器に移し替えるとともに、所属員への周知を行い、環境意識高揚に繋げた。